

2013(平成25)年度事業報告書

自 2013(平成25)年4月 1日
至 2014(平成26)年3月31日

107-0052 東京都港区赤坂1-2-2
公益財団法人 日 本 音 楽 財 団

I 概 要

公益財団法人日本音楽財団は、2014年3月末現在、アントニオ・ストラディヴァリ等によって製作された世界最高峰の弦楽器を20挺保有している。これら弦楽器名器を次世代へ引き継ぐ役割を担っていることを念頭に、弦楽器の保守保全に関しては、世界屈指の指定楽器商による定期的なコンディションチェックや修理による保全に加え、当財団による楽器保険の付保やATAカルネの発給による保全も行うなど、最善の方法を講じている。

ATAカルネに関しては、2012年9月にフランクフルト空港の税関にて当財団の楽器が押収されたことを受けて、2012年10月より保有する全楽器にATAカルネを発給することとした。2013年11月21日、EU諸国の通関においては、一時的な滞在時の職業用具としての楽器の持ち込みは、場合によって申告が不要との規則改正が行われた。しかし、規則の運用詳細が不明なため、当財団としてはしばらくの間は引き続きATAカルネを発給し楽器の保全に努めることにした。

保有する楽器で、国籍を問わず一流の演奏家や若手有望演奏家に無償で貸与する「楽器貸与事業」を展開している。貸与希望者を毎年一般公募し、現在貸与中の演奏家からの申請も含めて、ロリン・マゼール氏を委員長とする欧・米・アジアの有識者で構成された委員会により、活動実績やDVDによる演奏等が総合的に審議される。これにより、選定の透明性が確保され、本事業への信頼度が増している。

楽器の貸与者には年間5回まで、財団の演奏会に無償で参加することを義務付けて演奏会事業を推進している。本年度は、楽器貸与者による演奏会を東京で5回、大阪、兵庫でそれぞれ1回開催した。なかでも2011年に引き続き、貸与者2名とNHK交響楽団が共演した「ストラディヴァリウス&N響チャリティ・コンサート」は、大変高い評価を受けた。

また、演奏会事業の他に、助成により音楽文化の振興普及を行う、音楽助成事業を推進している。本事業では、外部有識者で構成される事業運営委員会の議論を経て、助成事業募集に当たってのテーマ(柱)を決めて募集している。決定にあたっては事業運営委員会の審議を経ることで、透明性と客観性を確保している。本年度は、パートナーの育成という柱を中心に8事業が採択され、特に、秋田、白山、北九州の3都市で開催した「青少年のためのレクチャーコンサート」は、それぞれの地域の集客力で会場をほぼ満席とし、今後の演奏会事業のパートナーを発掘できた。

上記のような当財団の事業は、監督官庁の指導を仰ぎながら、日本財団の助成金により運営・実施されている。当財団としては、国内外における音楽文化の発展に寄与するため、今後とも、業務体制の充実を図りながら、事業を一層効率的に実施したい。

Ⅱ 事 業

日本音楽財団は、「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」を公益目的事業として掲げ、1.楽器の保守・保全、2.楽器の貸与、3.演奏会の開催、及び 4.音楽文化振興・普及のための助成を行った。

1. 楽器の保守・保全

当財団は、保有している弦楽器名器を永く次世代へ引き継ぐため、楽器の修理及び調整内容等については慎重に検討し、名器の取り扱いに習熟している世界屈指の楽器商を指定し、保全に努めている。各貸与者に年4回定期的に、指定楽器商による楽器の状態チェックを義務付け、楽器商から当財団に対して、直接報告書(コンディションレポート)を提出してもらうことにより、状態の把握に努めている。さらに、年に一度は同じ目で楽器を見る必要があるという観点から、年4回の定期チェックの内1回は、英国(ロンドン)在住の当財団楽器アドバイザー Andrew Hill 氏のチェックを受けるようにしている。

当財団保有の楽器は、製作後約 300 年経過しており、その間、ほとんど大規模な修理が行われていないため、経年による大規模な修理、補修が必要な楽器が出てきている。本年度は del Gesu 1736 年製 Violin “Muntz” の修理を約 2 年の予定で実施している。

貸与中の楽器のメンテナンスや修理費は当財団が全額負担している。これは世界的文化遺産といわれる弦楽器名器に関して、どこで誰がどのような修理をしたかを「管理者」として把握し記録しておくためである。今後も、微調整には止まらない修理が必要となる楽器が多くなると予想される。定期メンテナンス以外の大規模修理に対応するため、特定費用準備資金として楽器修理代金の積立を行い、大規模修理に対応できる資金を確保している。

当財団では楽器貸与事業開始当初より、各貸与者に対して、楽器保全の観点から、高温多湿な地域に持ち込むことや船舶等での演奏を禁止している。また、戦争地域及び治安が不安定な国への楽器持込みも禁じている。さらに、国家権力による楽器の没収の危険のある国については、貸与者の演奏活動に応じて随時指示を出して対応している。中国に関しては不安定要素が多いことから、招聘先が楽器の出入国を保障しない限り楽器の持込を禁じている。また、ロシアについては招聘先の保障だけでなく、入国時に税関にて必ず当財団発行の楽器証明書に押印してもらうことを義務付けている。

前述の通り、2012 年 9 月にフランクフルト空港の税関にて当財団の楽器が押収されたことを受けて、2012 年 10 月より、当財団では保有する全楽器に ATA カルネを発給する(日本発行)こととした。ATA カルネは、有効期限(1 年)までに楽器を日本に再持込みができない場合は、有効期限が切れた時点で楽器が存在する国の輸入税の支払いを確約するものである。よって、演奏家には ATA カルネ更新のため、毎年来日することを義務づけており、当財団はカルネの更新スケジュール管理に細心の注意を払っている。

楽器保険については、楽器管理者の責任のもと全額を当財団が支払っており、2 社の保険会社と契約し、より良い条件と料率で契約できるよう努力している。

2. 楽器の貸与

1) 第19回楽器貸与委員会

2013年9月以降の長期貸与について審議する、第19回楽器貸与委員会は、2013年8月まで委員のスケジュール調整ができなかったため、2013年11月開催となった。その間の長期貸与者については、3ヶ月間(9月～11月まで)の貸与契約を締結して対応した。

日 時 2013年11月20日(水) 11:00～13:30
場 所 ドイツ国ミュンヘン市
Hotel Vier Jahreszeiten Kempinski 内会議室

楽器貸与委員 巻末別表3のとおり
財団保有楽器 巻末別表4のとおり
審議事項 現在の貸与状況及び貸与更新について
新規貸与申請について

会議結果

1. 貸与更新承認(11名)

Veronika Eberle、Sergey Khachatryan、Yuki Manuela Janke、
Arabella Miho Steinbacher、Svetlin Roussev、Alina Pogostkina、Vilde Frang、
Ray Chen、Andrey Baranov、諏訪内晶子、石坂団十郎

2. 新規貸与(6名)

Hagen Quartet(4名): Lukas Hagen(1st vn)、Rainer Schmidt(2nd vn)、
Veronika Hagen(va)、Clemens Hagen(vc)

五嶋 龍(vn)、Pablo Ferrández(vc)

(注:五嶋 龍及びHagen Quartetは短期貸与中に長期貸与申請があり、楽器貸与委員会で長期貸与が承認された。)

3. 短期貸与用楽器

特定の演奏会及びCD録音等の目的のための、6ヶ月以内の貸し出しを行うために2挺を短期貸与用に充てることが承認された。

2) 楽器の貸与状況

2014年3月末現在における保有楽器20挺の貸与状況の内訳は、巻末別表5のとおりである。

①～④ Stradivarius “Paganini Quartet”

1. 貸与者 東京クワルテット

1680年製 Violin 池田菊衛(アメリカ・ニューヨーク在住)
1727年製 Violin Martin Beaver(アメリカ・ニューヨーク在住)
1731年製 Viola 磯村和英(アメリカ・ニューヨーク在住)
1736年製 Cello Clive Greensmith(アメリカ・ニューヨーク在住)

貸与推薦者 楽器貸与委員全員

1995年9月27日より貸与していたが、東京クワルテットが2013年7月に解散するため、ヨーロッパ公演最終時の2013年7月4日(貸与期間17年9ヶ月)で終了した。

2. 貸与者 Hagen Quartet

| | |
|----------------|--|
| 1680 年製 Violin | Rainer Schmidt (スイス・ビンニゲン在住) |
| 1727 年製 Violin | Lukas Hagen (オーストリア・ザルツブルク在住) |
| 1731 年製 Viola | Veronika Hagen (オーストリア・ゼーキルヘン在住) |
| 1736 年製 Cello | Clemens Hagen (オーストリア・ザルツブルク在住) |
| 貸与推薦者 | 内田光子 (ピアニスト) Franz Welser-Möst (指揮者) Alexander Pereira (ザルツブルク音楽祭監督) |

当該楽器を使用しての演奏 合計 43 回 (聴衆約 24,100 名)

日本での演奏会ため 2013 年 7 月 5 日付で短期の貸与契約をした。日本滞在中には当財団役員のための特別演奏会 (後述) を実施した。なお、第 19 回楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認され、2014 年 8 月 31 日 (貸与期間 1 年 2 ヶ月) まで貸与契約を結んだ。

⑤ Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”

| | |
|-------|--|
| 貸与者 | Veronika Eberle (ドイツ・ミュンヘン在住) |
| 貸与推薦者 | Ana Chumachenco (ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授) Sir Simon Rattle (指揮者) 内田光子 (ピアニスト) |

当該楽器を使用しての演奏 合計 33 回 (聴衆約 39,400 名)

2009 年 5 月 11 日より貸与しているが、2014 年 8 月 31 日まで (貸与期間 5 年 4 ヶ月) 貸与契約を更新した。当財団の演奏会 (後述) に出演した。

⑥ Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”

| | |
|-----|----------------------------|
| 貸与者 | Ray Chen (アメリカ・フィラデルフィア在住) |
|-----|----------------------------|

当該楽器を使用しての演奏 合計 45 回 (聴衆約 55,400 名)

同氏は 2009 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、副賞として Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins” を 2009 年 6 月 2 日から 2010 年 9 月 8 日まで貸与 (貸与期間 1 年 3 ヶ月) していたが、同時期に他団体からも楽器の貸与を受けていたため、貸与を中断していた。貸与を受けていた楽器を返還したため、2012 年 4 月 11 日より当該楽器を貸与し、2014 年 6 月 30 日まで貸与契約を結んだ (貸与期間 2 年 2 ヶ月)。

⑦ Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”

| | |
|-----|----------------|
| 貸与者 | Andrey Baranov |
|-----|----------------|

当該楽器を使用しての演奏 合計 70 回 (聴衆約 47,600 名)

貸与期間 2012 年 5 月 29 日～2015 年 5 月次回コンクールまで

同氏は 2012 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、副賞として当該楽器を貸与している。

⑧ Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”

| | |
|-----|---------------------------|
| 貸与者 | Vilde Frang (ノルウェー・オスロ在住) |
|-----|---------------------------|

| | |
|-------|---|
| 貸与推薦者 | 内田光子 (ピアニスト) Esa-Pekka Salonen (指揮者) |
|-------|---|

当該楽器を使用しての演奏 合計 70 回 (聴衆約 89,700 名)

同氏は、第 18 回楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認され、2012 年 11 月 28

日より貸与を開始し、2014年8月31日まで(貸与期間1年9ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑨ Stradivarius 1710年製 Violin “Camposelice”

貸与者 Svetlin Roussev (フランス・パリ在住)

貸与推薦者 Myung-Whun Chung (指揮者)

Kyung-Wha Chung (ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計30回(聴衆約27,600名)

同氏には2012年1月16日より“Joachim”を短期で貸与していたが、2012年2月8日に当該楽器に変更した。その後、第18回楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認され2014年8月31日まで(貸与期間2年7ヶ月)貸与契約を更新した。

⑩ Stradivarius 1714年製 Violin “Dolphin”

貸与者 諏訪内晶子 (フランス・パリ在住)

貸与推薦者 Charles Dutoit (指揮者)

徳永二男 (ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計46回(聴衆約62,400名)

2000年8月11日より貸与しているが、2014年8月31日まで(貸与期間14年)貸与契約を更新した。「ストラディヴァリウス&N 響チャリティ・コンサート」に出演した。(後述)

⑪ Stradivarius 1715年製 Violin “Joachim”

貸与者 Lisa Batiashvili (ドイツ・ミュンヘン在住)

貸与推薦者 Osmo Vanska (指揮者)

Alfred Brendel (ピアニスト)

2001年11月20日より1709年製 Stradivarius Violin “Engleman”の長期貸与者であったが、CD録音のため2012年4月10日より、楽器を“Joachim”に変更した。その後、ドイツの団体から楽器の永代貸与を受けられるようになったことから、2013年7月4日で貸与を終了した。(通算貸与期間11年7ヶ月)。当該楽器は、長期貸与後しばらく楽器を休めるため、年度末現在保管中である。

⑫ Stradivarius 1716年製 Violin “Booth”

貸与者 Arabella Miho Steinbacher (ドイツ・ミュンヘン在住)

貸与推薦者 Ana Chumachenco (ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)

Anne-Sophie Mutter (ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計63回(聴衆約111,500名)

2005年5月5日より貸与しているが、2014年8月31日(貸与期間9年4ヶ月)まで貸与契約を更新した。なお、同氏には2006年9月4日より1736年製 Stradivarius Violin “Muntz”から当該楽器に楽器を変更して貸与している。

⑬ Stradivarius 1717年製 Violin “Sasserno”

貸与者 Alina Pogostkina (ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者 Sakari Oramo (指揮者)

Thomas Hengelbrock (指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計60回(聴衆約87,000名)

第18回楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認され、2013年2月28日より貸与

しているが、2014年8月31日(貸与期間1年6ヶ月)まで貸与契約を更新した。当財団のコンサート(後述)に出演した。

⑭ Stradivarius 1722年製 Violin “Jupiter”

貸与者 五嶋 龍(アメリカ・ニューヨーク在住)

貸与推薦者 Hanna Lachert(ヴァイオリニスト)

建部洋子(ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 29回(聴衆約 32,000名)

同氏には2013年3月7日より短期で貸与をしていたが、第19回楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認され、2014年8月31日(貸与期間1年6ヶ月)まで貸与契約を結んだ。

⑮ Stradivarius 1725年製 Violin “Wilhelmj”

貸与者 渡辺玲子(東京及びニューヨーク在住)

貸与推薦者 原田幸一郎(ヴァイオリニスト)

徳永二男(ヴァイオリニスト)

貸与期間 2012年11月12日～2014年3月31日(短期貸与更新)

当該楽器を使用しての演奏 合計 15回(聴衆約 14,100名)

財団事業協力のため貸与を更新した。当財団主催のコンサート(後述)に出演した。

また、音楽助成事業として、秋田市、白山市、北九州市で実施した「レクチャー・コンサート」に出演した。

⑯ Stradivarius 1736年製 Violin “Muntz”

貸与者 Yuki Manuela Janke(ドイツ・ドレスデン在住)

貸与推薦者 外山雄三(指揮者、作曲家)

Julia Fischer(ヴァイオリニスト、フランクフルト音楽大学教授)

当該楽器を使用しての演奏 合計 31回(聴衆約 11,600名)

2007年11月3日より貸与しているが、2014年8月31日まで(貸与期間6年10ヶ月)契約を更新した。当財団のコンサート(後述)に出演した。同氏は2012年9月よりドレスデン・シュターツカペレのコンサートマスターとして活動している。上記の当該楽器を使用しての演奏回数はソリストとしての活動情報である。

⑰ Stradivarius 1696年製 Cello “Lord Aylesford”

1. 貸与者 石坂団十郎(ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者 Daniel Barenboim(ピアニスト、指揮者)

Krzysztof Penderecki(作曲家、指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 38回(聴衆約 18,700名)

2004年1月29日より貸与しているが(貸与期間10年)、2014年1月10日よりStradivarius 1730年製 Cello “Feuermann”に楽器を変更した。

同氏は当該楽器を使用して「ストラディヴァリウス&N 響チャリティ・コンサート」に(後述)に出演した。

2. 貸与者 Pablo Ferrández(スペイン・トレドネス在住)

貸与推薦者 Frans Helmerson(チェリスト)

Lluís Claret(チェリスト)

Paloma O'Shea(ソフィア王妃高等音楽院学長)

第19回楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認され、2014年1月17日より2014年8月31日(貸与期間8ヶ月)まで貸与契約を結んだ。

⑱ Stradivarius 1730年製 Cello “Feuermann”

貸与者 石坂団十郎(ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者 Daniel Barenboim(ピアニスト、指揮者)

Krzysztof Penderecki(作曲家、指揮者)

同氏には2004年1月29日よりStradivarius 1696年製 Cello “Lord Aylesford”を貸与していたが、2014年1月10日より当該楽器に変更し、2014年8月31日(貸与期間8ヶ月、同氏への通算貸与期間10年7ヶ月)まで契約を更新した。

⑲ Guarneri del Gesu 1736年製 Violin “Muntz”

当該楽器は大規模修理中であり、2014年10月に終了予定である。

⑳ Guarneri del Gesu 1740年製 Violin “Ysaye”

貸与者 Sergey Khachatryan(ドイツ・エッシュボルン在住)

当該楽器を使用しての演奏回数 合計31回(聴衆約37,300名)

同氏は2005年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、2009年4月までStradivarius 1708年製 Violin “Huggins”を貸与(3年10ヶ月)した。引き続きの貸与の申請がありStradivarius 1702年製 Violin “Lord Newlands”を2009年4月7日より2010年10月まで貸与。その後、当該楽器へ変更し2014年8月31日(貸与期間3年7ヶ月、同氏への通算貸与期間9年1ヶ月)まで契約を更新した。

3) 楽器貸与委員(Ana Chumachenco 教授による)プライベートレッスン

当財団の楽器貸与委員であり、ヴァイオリン指導者の第一人者である Ana Chumachenco 教授より、当財団の事業に協力したいとの申し出があったため、2013年11月29日(金)東京音楽大学において、マスタークラス(受講生2名)と演奏会を行うことになった(音楽助成事業)。

その前の3日間を利用して若手演奏家の育成のためのプライベートレッスンを計画し、各音楽事務所に希望者を募った。その結果、受講者は、下記の4名になった。

1. 諏訪内晶子 Stradivarius 1714年製 Violin “Dolphin”長期貸与者
2. 渡辺玲子 Stradivarius 1725年製 Violin “Wilhelmj”短期貸与者
3. 五嶋 龍 Stradivarius 1722年製 Violin “Jupiter”長期貸与者
4. 松本絃佳 del Gesu 1736年製 Violin “Muntz”元短期貸与者

日 程 2013年11月26日(火)、27日(水)、28日(木)

各日14:00~18:00(一人1日1時間3日間開催)

場 所 エノキザカスタジオ(東京港区)

受講曲

Bach Solo pieces 1曲、Classical Sonata 1曲、その他好きな曲 1曲 計 3曲

ピアノ伴奏及び通訳: 占部由美子(ピアニスト、ミュンヘン音楽大学教授)

3. 演奏会の開催

当財団の楽器貸与事業の広報を目的とした演奏会を開催した。各演奏会とも実録CDを作成し、関係者へ配布するとともにクラシック音楽専門チャンネルで放送し、事業の周知に努めた。本年度は NHK 交響楽団とのチャリティ・コンサートを含め、下記のとおり 8 公演を行った。

1) 演奏会の名称 「渡辺玲子 ヴァイオリン・リサイタル」

出 演 渡辺玲子 Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”使用
江口 玲(ピアノ)

日 時 2013 年 5 月 14 日(火)18:00 レセプション 19:00~20:00 リサイタル

場 所 紀尾井ホール(東京) 800 席

主 催 日本音楽財団

助 成 日本財団

演奏曲目 ヨハン・ゼバスティアン・バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ
第 2 番 ニ短調 BWV1004 より「シャコンヌ」
マヌエル・デ・ファリャ/コハンスキ編曲:
スペイン民謡組曲より「ホタ」「ナナ」「カンシオン」「ポロ」
カロール・シマノフスキ:「神話-3つの詩」作品30 より「アレットウーサの泉」
セザール・フランク:ピアノとヴァイオリンのためのソナタ イ長調

来場者数 約 700 名

2) 演奏会の名称 「Veronika Eberle ヴァイオリン・リサイタル」

出 演 Veronika Eberle Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”使用
占部由美子(ピアノ)

日 時 2013 年 7 月 17 日(水)18:00 レセプション 19:00 演奏会

場 所 浜離宮ホール(東京) 552 席

主 催 日本音楽財団

助 成 日本財団

演奏曲目 フランツ・ペーター・シューベルト:
ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ ト短調 作品137 第3 番 D408
ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー:
「なつかしい土地の思い出」作品42 より「スケルツォ」ハ短調
「メロディ」変ホ長調
ヨハネス・ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第3 番 ニ短調 作品108

来場者数 約 500 名

3) 演奏会の名称 「さんだ子ども発達支援センター支援

ストラディヴァリウス チャリティ・コンサート」

出 演 Alina Pogostkina Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”使用
林 絵里(ピアノ)

日 時 2013 年 8 月 8 日(木)18:30 演奏会

場 所 三田市総合文化センター郷の音ホール(兵庫県三田) 974 席
 主 催 (公財)ひょうご子どもと家庭福祉財団
 (社福)ひょうご障害福祉事業協会
 後 援 三田市、三田市教育委員会、三田市文化協会
 特別協力 日本音楽財団
 協 力 日本財団
 演奏曲目 ヨハネス・ブラーム:ヴァイオリン・ソナタ第 1 番ト長調 作品 78「雨の歌」
 ピョートル・チャイコフスキー:
 「懐かしい土地の思い出」 作品 42 より「メロディ」変ホ長調
 カミーユ・サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 作品 28
 ヨハネス・ブラームス:「F.A.E.ソナタ」より「スケルツォ」ハ短調
 ヨハネス・ブラームス / ヨーゼフ・ヨアヒム編曲:「ハンガリー舞曲集」より
 第 1 番ト短調/第 7 番 イ長調
 チケット販売 全席自由 前売一般 2,000 円、前売学生 1,000 円
 当日一般 2,500 円、当日学生 1,500 円
 チャリティ額 1,912,500 円(チケット販売数 計 998 一般 906 学生 92)
 来場者数 約 800 名

4)演奏会の名称 「Hagen Quartet スペシャル・コンサート」

出 演 Hagen Quartet Stradivarius“Paganini Quartet”使用
 Lukas Hagen Stradivarius 1727 年製 Violin “Paganini”
 Rainer Schmidt Stradivarius 1680 年製 Violin “Paganini”
 Veronika Hagen Stradivarius 1730 年製 Viola “Paganini”
 Clemens Hagen Stradivarius 1736 年製 Cello “Paganini”

日 時 2013 年 10 月 1 日(火)11:00 演奏会
 場 所 アークヒルズクラブ クラブ A ルーム(東京)
 主 催 日本音楽財団

演奏曲目 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第 2 番 ト長調 Op.18-2
 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第 3 番 ニ長調 Op.18-3

来場者数 約 30 名

“Paganini Quartet”を日本公演のために短期貸与している Hagen Quartet の特別演奏会を、当財団役員を対象として、“Paganini Quartet”の次期長期貸与候補の 1 団体として開催した。

5)演奏会の名称 「第 11 回いずみホール夢コンサート」

主に視覚障害者を対象としたコンサート

出 演 藤岡幸夫(指揮)
 Yuki Manuela Janke(Stradivarius 1736 Violin ‘Muntz’)
 関西フィルハーモニー管弦楽団
 黒谷昌子(司会)

日 時 2013 年 10 月 2 日(水) 14:00~16:00

場 所 いずみホール(大阪) 821 席
主 催 いずみホール
特別協力 日本音楽財団
協 力 日本財団
演奏曲目 ビゼー:《カルメン》前奏曲、ハバネラ
サラサーテ:《ツィゴイネルワイゼン》
サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ
チャイコフスキー:《くるみ割り人形》より「花のワルツ」
ヴェルディ:《椿姫》第1幕への前奏曲
ワーグナー:《ニュルンベルクのマイスタージンガー》前奏曲

特別企画 来場者による指揮体験 2名

来場者数 約 710 名(内 盲導犬 17 頭、車いす 20 台)

夢コンサートは、障害者とその家族やボランティアの方々を無料で招待し、2003 年よりいずみホールが関西フィル、指揮者藤岡幸夫氏と共に毎年開催しているいずみホールの福祉事業の一つであり、今回はじめて当財団楽器貸与者を派遣した。

6)演奏会の名称 「Yuki Manuela Janke ヴァイオリン・リサイタル」

出 演 Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”使用
林 絵里(ピアノ)

日 時 2013 年 10 月 3 日(木)18:00 レセプション 19:00 演奏会

場 所 トッパンホール(東京) 408 席

主 催 日本音楽財団

助 成 日本財団

演奏曲目 ヨハネス・ブラームス:「F.A.E.ソナタ」より「スケルツォ」ハ短調

ロベルト・シューマン:幻想小曲集 作品73

フレデリック・フランソワ・ショパン:夜想曲 第20番 嬰ハ短調 遺作

(ナタン・ミルシテイン編)

ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ニ長調 作品12

来場者数 約 380 名

7)演奏会の名称 「ストラディヴァリウス&N 響チャリティ・コンサート」

指 揮 井上道義

オーケストラ NHK 交響楽団

独 奏 者 諏訪内晶子 Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”使用

石坂団十郎 Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”使用

日 時 2013 年 12 月 17 日(火) 19:00 開演

場 所 Bunkamura オーチャードホール 2,000 席

主 催 NHK 交響楽団、日本音楽財団

特別協力 日本財団

チケット販売 S 席 6,000 円、A 席 4,000 円、B 席 2,000 円

販売委託先 Bunkamura チケットセンター、チケットぴあ

チャリティ先 チケット売上全額を「日本 SOS 子どもの村」を通じての被災地の子ども支援に寄付。

チャリティ
演奏曲目 4,121,551円(チケット販売額3,563,580円、当日募金額557,971円)
カミーユ・サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 作品 28
カミーユ・サン＝サーンス:チェロ協奏曲 第1番 イ短調 作品 33
カミーユ・サン＝サーンス:ミューズと詩人たち 作品 132
モーリス・ラヴェル:ツイガーン
モーリス・ラヴェル:舞踊音楽「ラ・ヴァルス」
(アンコール)
カミーユ・サン＝サーンス:サムソンとデリラよりバッカナール

来場者数 1,623名(チケット販売 842枚、招待 781枚)

8)演奏会の名称 「Lisa Batiashvili ヴァイオリン・リサイタル」

出 演 Lisa Batiashvili
占部由美子(ピアノ)

日 時 2014年2月14日(金)18:00 レセプション 19:00～20:00 リサイタル

場 所 浜離宮朝日ホール(東京) 552席

主 催 日本音楽財団

助 成 日本財団

演奏曲目 フランツ・シューベルト:ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ
イ短調 作品137-2 D385
ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第7番 ハ短調 作品30-2
ヨハネス・ブラームス/ ヨーゼフ・ヨアヒム編曲:
「ハンガリー舞曲集」より 第2番 二短調

来場者数 約 270名 (当日大雪のため欠席者多数)

4. 音楽文化振興・普及のための助成

助成事業の募集は、外部有識者で構成される事業運営委員会で決定されたテーマ(柱)に沿って当財団ホームページで行っている。また、事業の決定についても同委員会の審議を経て決定している。(本年度事業運営委員名簿は、巻末別表3)

本年度は、昨年度同様、楽器貸与者による財団主催の演奏会を東京以外の地域で積極的に開催するために、それぞれの地域にあった集客ができるパートナー(共催者)を育成することを目的とする柱「パートナーの育成」を中心に募集したところ、29事業の申請があった。2013年4月16日(火)14:00から日本音楽財団会議室で事業運営委員会を開催し合計8事業を決定した。8事業のうち、1事業(⑧)は、事業運営委員会の際、委員の申し出により当初の柱「パートナー育成」から外れるが採択されるべきとの意見があり、「障害を持つ音楽家の活動支援」という新しい柱として採択された。

これら8事業については、下記の通り完了した。(8事業:助成合計 9,491,249円)

「パートナー育成」7事業(①～⑦)

当財団が東京以外の地域で演奏会を開催した際の集客は、非常に難しいのが現状で

ある。今回支援したどの事業もその地域独自の集客方法によりほぼ満席で開催できた。この集客力と今回培った協力関係で、今後、音楽助成事業としてだけでなく、演奏会事業として当財団と演奏会を共催していくことが期待できた。

①青少年のためのレクチャーコンサート「大作曲家たちの友情と反目」

主 催 白山市文化協会
日 時 2013年10月27日(日) 14:00 開演
場 所 鶴来(つるぎ)総合文化会館クレインホール(白山市)(800席)
出 演 渡辺玲子(Stradivarius 1725年製 Violin “Wilhelmj”使用)
江口 玲(ピアノ)
助成額 1,242,839円

②青少年のためのレクチャーコンサート「音楽の楽しみ」

主 催 アトリオン音楽ホール
日 時 2013年11月8日(金) 14:00 開演
場 所 秋田アトリオン音楽ホール(700席)
出 演 渡辺玲子(Stradivarius 1725年製 Violin “Wilhelmj”使用)
江口 玲(ピアノ)
助成額 1,398,994円

③北九州市制 50周年記念事業 子どもたちのためのレクチャーコンサート

「大作曲家たちの友情と反目」

主 催 (公財)北九州市芸術文化振興財団
北九州市ジュニアオーケストラ選抜 30名
日 時 2014年1月19日(日) 15:00 開演
場 所 北九州市立響ホール(720席)
出 演 渡辺玲子(Stradivarius 1725年製 Violin “Wilhelmj”使用)
江口 玲(ピアノ)
助成額 1,382,134円

④アナ・チュマチェンコ演奏会&マスタークラス

主 催 学校法人東京音楽大学
日 時 2013年11月29日(金)17:00 開演 18:00~20:00 公開マスタークラス
場 所 東京音楽大学百周年記念ホール(東京)(800席)
出 演 Ana Chumachenco(ヴァイオリン)、占部由美子(通訳、ピアノ)
助成額 1,127,137円

⑤オーケストラの日 2014

主 催 (公社)日本オーケストラ連盟
日 時 2014年3月31日(月) 19:00 開演
場 所 文京シビックホール(東京)(1,802席)
出 演 オーケストラの日祝祭管弦楽団
渡邊一正(指揮)
Andrey Baranov(Stradivarius 1708年製 Violin “Huggins”使用)
助成額 1,800,000円

⑥三河市オペラ制作委員会「トゥーランドット」

主 催 三河市民オペラ制作委員会
日 時 2013年5月5日(日)～6日(月)
場 所 アイプラザ豊橋大ホール(愛知県豊橋市)(1,469席)
助成額 1,000,000円

⑦OPERA FOR THE YOUNG

主 催 The Chateauville Foundation(USA)
日 時 2013年7月27日(土)、28日(日)
場 所 Castleton Farm ヴァージニア州 USA
助成額 1,040,145円(10,634USドル相当額)

「障害を持つ音楽家の活動支援」1事業(⑧)

⑧障害者による新たな音楽への誘い

主 催 NPO 法人日本バリアフリー協会
日 時 2014年3月15日(土)14:30～16:30
場 所 日比谷公園噴水広場 野外特設ステージ
助成額 500,000円

5. 協力事業

2012年度に開催した「ストラディヴァリウス・チャリティ・コンサート」の寄付先であるサントリーホールが行なった「車いす利用者のための室内楽演奏会」に、下記のとおり当財団の楽器貸与者を派遣協力した。

日 時 2013年6月13日(木)11:30開演
場 所 サントリーホール小ホール
出 演 渡辺玲子(Stradivarius 1725年製 “Wilhelmj”使用)、
堤 剛(チェロ)、林 絵里(ピアノ)

6. 広報活動

日本音楽財団の事業活動を広く周知するため、以下のような広報活動を展開している。

- (1) 財団冊子(日本語、英語併記)を作成し、関係する演奏会の会場などで広く一般に配布している。
- (2) ホームページ(日本語、英語)にて、財団の事業活動全般について紹介している。
- (3) 財団主催演奏会のCD、DVDを作成し、国内外の音楽関係機関、オピニオンリーダー等に配布している。本年度作成したCD、DVDは以下のとおり。
 - 1) 渡辺玲子ヴァイオリン・リサイタル CD (2013年5月14日東京)
 - 2) Veronika Eberle ヴァイオリン・リサイタル CD (2013年7月17日東京)
 - 3) ストラディヴァリウス・チャリティ・コンサート CD(2013年8月8日三田)
 - 4) Yuki Manuela Janke ヴァイオリン・リサイタル CD (2013年10月3日東京)
 - 5) 青少年のためのレクチャーコンサート2013 CD (2013年11月8日秋田)
 - 6) ストラディヴァリウス&N響チャリティ・コンサート CD、DVD(2013年12月17日東京)

(4) 楽器貸与者との間で締結している貸与契約書に以下の内容を明記し、楽器貸与事業の周知・広報を図っている。

- 1) 貸与者は、報道機関のインタビューや演奏会プログラムにおいて、貸与楽器の名称並びに当該楽器が日本音楽財団から貸与されていること的事实を周知・広報する。
- 2) 貸与楽器による演奏が、CD、DVD 等の形で制作されるときは、貸与者は、貸与楽器の名称並びに当該楽器が日本音楽財団から貸与されていること的事实を当該制作物に明確に表示する。
- 3) 貸与者は、年に1度、3月末日に前年4月からの演奏会(開催日、開催場所、演奏曲目、入場者数等)並びにCD、DVD制作に関する活動内容報告書を日本音楽財団に提出する。

楽器貸与者が本年度中にリリースしたCDは以下のとおりである。

- ① 石坂団十郎 “Johannes Brahms The Complete Chamber Music for Clarinet” (2013年3月)
- ② Arabella Miho Steinbacher “Korngold, Bruch and Chausson with Lawrence Foster and the Gulbenkian Orchestra” (2013年4月)
- ③ Sergey Khachatryan “Brahms Sonatas” (2013年7月)
- ④ 石坂団十郎 “Schubert Death and the Maiden-String Quintet (2013年9月)

(5) 衛星デジタルラジオ局並びに衛星デジタルテレビの協力を得て、当財団主催の国内外の演奏会の実録CD、DVDを放送し、不特定多数の方々にストラディヴァリウスの華麗な響きを楽しんでもらい、楽器貸与事業の周知・広報を図っている。特に普段なかなかストラディヴァリウスの演奏に触れる機会のない地方のクラシックファンには、大変喜ばれているとの報告を受けている。2013年度における放送内容は下記のとおりである。

1) 衛星デジタルラジオ MUSICBIRD THE CLASSIC (7ch)

- ① 2013年6月16日、再放送6月22日 東京クワルテット 44年の足跡
「東京クワルテット・コンサート」
(浜離宮朝日ホール、2013年2月8日収録)
- ② 2013年8月31日、再放送2013年9月16日
「大作曲家たちの友情と反目～青少年のためのレクチャーコンサート」
演奏: 渡辺玲子、江口 玲
(秋田アトリオン音楽ホール、2012年11月6日収録)
「渡辺玲子 ヴァイオリン・リサイタル」
演奏: 渡辺玲子、江口 玲
(紀尾井ホール、2013年5月14日収録)

2) 衛星デジタルテレビ クラシカ・ジャパン×スカパー!

放送局 BSスカパー

再放送日時 2013年6月27～29日、7月1～4日、7日、27日、

2014年1月3日、5日、24～25日、27～30日、2月2日

「ストラディヴァリウス・コンサート2012」

(サントリーホール、2012年9月10日収録)

(6) 音楽雑誌、新聞、その他マスメディアの取材要請、財団保有楽器の写真提供要請に応え、財団の活動の周知・広報を図っている。2013 年度における主な掲載記事の内容、放送内容は以下のとおりである。

1) 8/8(木) 三田市で開催した「ストラディヴァリウス・チャリティコンサート」について

①2013 年 7 月 12 日付で神戸新聞地域版にコンサート記事が掲載され、チケット販売促進につながった。

②チケット販売促進の目的で朝日新聞大阪本社記者による塩見理事長のインタビューが行われた。しかし、チケット販売が順調であったため、演奏会終了後、2013 年 11 月 28 日付朝日新聞関西版文化面に同インタビューが掲載された。

2) 2013 年 8 月号のモーストリー・クラシックのストラディヴァリウス特集への写真提供

3) NHK が NHK スペシャル「至高のバイオリン ストラディヴァリウスの謎」を制作するにあたり、ストラディヴァリウスの音を解明するための実験をするために、下記のとおり録音に協力をした。

① Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin” (演奏家: 諏訪内晶子)

② Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj” (演奏家: 渡辺玲子)

放送日

2013 年 11 月 3 日(日)21:00～21:58 総合テレビ

2013 年 11 月 7 日(木)00:40～01:38 総合テレビ再放送

また、2013 年 12 月 21 日(土)に外国人向けテレビ国際放送「NHK ワールド TV」英語版番組として約 4 時間ごとに 6 回放送。

4) その他

Ⅲ 総 務

1. 役員 の 異 動

本年度内の役員異動はなかった。年度末現在の理事・監事の名簿は巻末別表 1、評議員の名簿は巻末別表 2 のとおりである。

2. 理 事 会

本年度は、理事会を下記のとおり 2 回開催した。

2013 年度第 1 回理事会

開催日 2013 年 6 月 7 日(金) 11:00～12:00

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37 階

議決事項

第 1 号議案 2012 年度事業報告及び決算について

第 2 号議案 評議員会の招集について

2013 年度第 2 回理事会

開催日 2014 年 3 月 11 日(火) 11:00～12:00

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37 階

議決事項

第 1 号議案 2014 年度事業計画及び収支予算について

付帯決議案 事業計画の若干の字句の修等は、会長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は、
会長に一任する

3. 評 議 員 会

本年度は、評議員会を下記のとおり 2 回開催した。

2013 年度定時評議員会

開催日 2013 年 6 月 21 日(金) 11:00～12:00

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37 階

議決事項

第 1 号議案 2012 年度事業報告及び決算について

2013 年度臨時評議員会

開催日 2014 年 3 月 11 日(火) 13:20～14:20

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37 階

議決事項

第1号議案 2014年度事業計画及び収支予算について

付帯決議案 事業計画の若干の字句の修等は、会長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は、
会長に一任する

4. 登記事項

特になし

5. 主務大臣への届出等

(内閣府)

2013年6月25日 2012年度事業報告及び決算報告書届

2014年3月17日 2014年度事業計画及び収支予算書届

6. 外部監査の実施

本年度も永和監査法人に監査を委託し、期中監査を2014年3月に実施し、期末監査を2014年5月に実施した。

7. 事務局

事務所を東京都港区赤坂1-2-2日本財団ビル5階に置き、業務を遂行した。
年度末現在の事務局役職員数は常勤役員2名、職員5名、計7名である。

別表 1

公益財団法人 日本音楽財団理事・監事名簿

(2014年3月31日現在、敬称略)

| | | |
|--------------------|-----------|-----------------------------------|
| 会 長 | 小 林 實 | (一財)地域活性化センター顧問 |
| 理 事 長 | 江頭(塩見)和子 | 常 勤 |
| 常務理事 | 檜 林 欣 也 | 常 勤 |
| (以下理事、監事はアルファベット順) | | |
| 理 事 | 海 老 澤 敏 | 尚美学園大学大学院特別専任教授 |
| 理 事 | 福 田 博 | 西村あさひ法律事務所顧問弁護士 |
| 理 事 | 福 井 俊 彦 | 元日本銀行総裁 (一財)キヤノングローバル戦略研究所理事長 |
| 理 事 | 長 谷 川 和 年 | 世界平和研究所監事及び研究顧問 元駐オーストリア特命全権大使 |
| 理 事 | 畠 山 向 子 | (公財)畠山記念館館長 |
| 理 事 | 日 野 原 重 明 | (一財)聖路加国際メディカルセンター理事長 |
| 理 事 | 岩 淵 龍 太 郎 | ヴァイオリニスト |
| 理 事 | 児 玉 幸 治 | (一財)機械システム振興協会会長 |
| 理 事 | 松 木 康 夫 | 新赤坂クリニック名誉院長 |
| 理 事 | 新 田 勇 | 元(株)東芝専務取締役 |
| 理 事 | 斉 藤 邦 彦 | 元駐アメリカ合衆国特命全権大使 学校法人北鎌倉女子学園理事長 |
| 理 事 | 佐 治 俊 彦 | 毎日新聞社社友 |
| 監 事 | 垣 見 隆 | 弁護士 |
| 監 事 | 山 内 悦 嗣 | 公認会計士 |

公益財団法人日本音楽財団評議員名簿

(2014年3月31日現在、敬称略)

(アルファベット順)

| | |
|-------|----------------------|
| 相川直樹 | 慶応義塾大学名誉教授 |
| 荒蒔康一郎 | 元キリンホールディングス(株)会長 |
| 海老沢勝二 | 学校法人大隈記念早稲田佐賀学園副理事長 |
| 藤井宏昭 | 国際交流基金顧問、森アーツセンター理事長 |
| 木全ミツ | 認定NPO法人女子教育奨励会理事長 |
| 清原武彦 | 産経新聞社取締役会長 |
| 小林道夫 | ピアニスト、チェンバロ奏者 |
| 前和男 | 東京音楽大学顧問 |
| 奈良久彌 | (株)三菱総合研究所特別顧問 |
| 尾形武寿 | (公財)日本財団理事長 |
| 須磨久善 | 心臓外科医 |
| 丹治誠 | 元日本銀行理事 |

別表 3

事業委員名簿

(2014年3月31日現在、敬称略)

楽器貸与委員 (欧州・米国・アジアの代表で構成)

| | |
|------------------------|--------------------------|
| 委員長 Lorin Maazel | 指揮者 |
| Marta Casals Istomin | 元マンハッタン音楽院学長 |
| Ana Chumachenco | ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授 |
| Kyung-Wha Chung | ヴァイオリニスト、ジュリアード音楽院教授 |
| 海老澤 敏 | 当財団理事 |
| Jean-Pierre de Launoit | ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール会長 |
| Curtis Price | ニュー・カレッジ・オックスフォード学長 |
| 江頭(塩見)和子 | 当財団理事長 |

事業運営委員

委員長 鹿海信也 元文化庁文化部長

(以下委員はアルファベット順)

| | |
|-------------|------------|
| 委員 藤掛廣幸 | 作曲家 |
| 委員 岩井宏之 | 音楽評論家 |
| 委員 川本統脩 | 洗足学園音楽大学講師 |
| 委員 齋藤一郎 | 東京藝術大学名誉教授 |
| 委員 江頭(塩見)和子 | 当財団理事長 |

財団保有楽器の概要

(2014年3月31日現在)

Stradivarius "Paganini Quartet"

アントニオ・ストラディヴァリ(1644～1737)製作による楽器で構成されたクアルテットは、世界で6セットの存在が知られている。このクアルテットはその1つであり、19世紀の伝説的なヴァイオリニスト、ニコロ・パガニーニ(1782～1840)が所有していたことでも有名である。

日本音楽財団は1994年にアメリカ・ワシントン D.C.のコーコラン美術館よりこのクアルテットを購入した。同美術館にこのクアルテットを寄贈した米国のアンナ・E・クラーク夫人の意志を受け継ぎ、当財団は4挺を常にセットとして四重奏団に貸与している。

1700年製 Stradivarius Violin "Dragonetti"

このヴァイオリンはネックの部分までも製作当時のものが使用されているとても貴重な楽器である。著名なコントラバス奏者ドメニコ・ドラゴネッティ(1763～1846)によって大切に所有されていたことから現在この名前と呼ばれている。日本音楽財団の購入直前には、世界的に名の知られているヴァイオリン奏者、フランク・ペーター・ツィンマーマン(1965～)によって演奏されていた。

2002年6月に当財団が購入したものである。

1702年製 Stradivarius Violin "Lord Newlands"

イギリスのニューランズ卿(1890～1929)によって生涯大切にされていたため、現在この名前と呼ばれている。1964年から1982年にこの楽器を保管していたロンドンのヒル商会が、1973年にバースの古楽器名器展にて、当時のヒル商会を代表する楽器としてこのヴァイオリンを展示していた。楽器の保存状態が優れているだけでなく、その音質の良さでも知られており、以前このヴァイオリンを演奏したアイザック・スターン(1920～2001)は、自身が所有しているガエルネリ・デル・ジェスと同じパワーを感じると語ったという。

2002年6月に当財団が購入したものである。

1708年製 Stradivarius Violin "Huggins"

イギリスの天文学者であるウィリアム・ハギンス卿(1824～1910)が、1880年頃ウィーンの皇帝からこの楽器を購入し、所有していたことから「ハギンス」と呼ばれている。日本音楽財団は1997年よりベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者に副賞として次のコンクールまでこの楽器を貸与し、コンクールの発展と演奏家の技術向上に寄与している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

1709 年製 Stradivarius Violin "Engleman"

このヴァイオリンは、アメリカ海軍士官ヤング中佐が第二次世界大戦中に戦死するまで、約 150 年間ヤング家に大切に保管されていたため、保存状態が優れている。当財団が保有する以前は、アメリカのアマチュア・ヴァイオリン奏者で収集家のエフレイム・エンゲルマンが所有していたため、現在はこの名前で親しまれている。

1996 年 5 月に当財団が購入したものである。

1710 年製 Stradivarius Violin "Camposelice"

このヴァイオリンは、1880 年代にフランスのカンポセリーチェ公爵の手に渡ったことから「カンポセリーチェ」と呼ばれている。1937 年にはクレモナ古楽器名器展にキューネ博士のコレクションとして展示された。日本音楽財団が購入する前は、30 年間以上ベルギーのアマチュア奏者のもとで大切に保管されていたため、楽器の内側の状態はオリジナルのままである。

2004 年 9 月に当財団が購入したものである。

1714 年製 Stradivarius Violin "Dolphin"

1800 年代後半にこの楽器を所有していたジョージ・ハートは、光沢の美しい裏板のニスが優美な"イルカ"を思わせることから「ドルフィン」という名前を付けた。音色並びに楽器の保存状態が優れており、1715 年製「アラード」、1716 年製「メシア」に並ぶ世界 3 大ストラディヴァリウスの 1 つと呼ばれている。また、巨匠ヤツシャ・ハイフェッツ (1901～1987) が愛用していたことでも知られている。

2000 年 2 月に当財団が購入したものである。

1715 年製 Stradivarius Violin "Joachim"

この楽器は、有名なハンガリーのヴァイオリン奏者、ヨーゼフ・ヨアヒム (1831～1907) が所有していたストラディヴァリウス 1715 年製ヴァイオリン 5 挺の内の 1 つである。また、ヨアヒムからヴァイオリンのレッスンを受けていた彼の兄弟の孫娘アディラ・アラニに遺贈されたことから「ヨアヒム=アラニ」という名前でも知られている。日本音楽財団が購入するまでは、アラニ家によって代々受け継がれてきた。

2000 年 9 月に当財団が購入したものである。

1716 年製 Stradivarius Violin "Booth"

1855 年頃にイギリスのブース夫人が所有していたため、現在の名が付けられている。彼女はヴァイオリンの才能を発揮した 2 人の息子たちのためにストラディヴァリウスのクアルテットを形成しようと試み、この楽器を購入した。1931 年にアメリカの名高いヴァイオリン奏者ミシャ・ミシャコフ (1896～1981) の手にわたり、1961 年にはニューヨークのホッティンガー・コレクションの一部となった。音色の美しさ、音の力強さにおいて知名度が高く、保存状態も優れている。

1999 年 1 月に当財団が購入したものである。

1717年製 Stradivarius Violin "Sasserno"

1845年からフランスのサセルノ伯爵が所有していたことからこの名前と呼ばれている。1894年にはヴァイオリン奏者のオットー・ペイニガーが所有し、その後にイギリスで有名な醸造所を所有していたピカリング・フィップスの手に渡った。1906年にはイギリスの産業資本家ヘンリー・サマーズが所有し、それ以後90年以上にわたり同家で大切に保管されていたため、製作時のままのニスが多く残っており保存状態が非常に優れている。

1999年5月に当財団が購入したものである。

1722年製 Stradivarius Violin "Jupiter"

このヴァイオリンは、1800年頃にイギリスの偉大なコレクター、ジェームス・ゴディングによって「ジュピター」と名付けられたといわれている。この楽器は大切に使用されてきたため保存状態が素晴らしく、オリジナル・ニスも全体に十分残っている。近年では、日本を代表するヴァイオリン奏者の1人、五嶋みどり(1971～)が演奏していた。

1998年5月に当財団が購入したものである。

1725年製 Stradivarius Violin "Wilhelmj"

1866年以降、約30年間この楽器を所有していた著名なドイツのヴァイオリン奏者、オウグスト・ウィルヘルミ(1845～1908)に因んでこの名前が付けられた。ウィルヘルミの所有していた数多くのヴァイオリンのうち最も愛用されていた楽器だったが、「演奏者として華のあるうちに引退したい」との理由で、50代の若さで楽器を手放したという。

2001年6月に当財団が購入したものである。

1736年製 Stradivarius Violin "Muntz"

楽器内側に貼られたラベルにはストラディヴァリ本人の手書きで「d'anni 92(92歳)」と書かれている珍しい楽器である。透明な黄褐色のニスが楽器のほぼ全体に綺麗に残っており、楽器の保存状態も音色も格段に優れている。1874年以降、英国の収集家ムンツが所有していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737年に死去したストラディヴァリが、最晩年に製作した楽器の1つとして知られている。

1997年7月に当財団が購入したものである。

1696年製 Stradivarius Cello "Lord Aylesford"

アマチュア奏者として有名であったイギリスのアイレスフォード卿が1780年代初期にイタリアの名高いヴァイオリン奏者フェリーチェ・デ・ジャルディーニ(1716～1796)から購入し、その後アイレスフォード家に約100年間所有されていたことからこの名前が付けられた。1946年にはアメリカ・フィラデルフィア在住の世界的に著名なチェロ奏者グレゴール・ピアティゴルスキー(1903～1976)の手に渡り、1950年から1965年には巨匠ヤーノシュ・シュタルケル(1924～2013)によって演奏会や35枚のレコーディングのために使用された。

2003年6月に当財団が購入したものである。

1730年製 Stradivarius Cello "Feuermann"

アントニオ・ストラディヴァリが製作したうち、現存するチェロは、約50挺といわれている。「フォイアマン」は普通のチェロと比べ、楽器本体の部分が細長い点が特徴である。1934年から世界的に著名なチェロ奏者、エマニュエル・フォイアマン(1902～1942)が長年にわたり演奏活動に使用したことから、この名前と呼ばれている。フォイアマンは斎藤秀雄が師事したこともあり、日本でもよく知られている。

1996年12月に当財団が購入したものである。

1736年製 Guarneri del Gesu Violin "Muntz"

アントニオ・ストラディヴァリと並び称される名工、バルトロメオ・ジュゼッペ・グアルネリ(グアルネリ・デル・ジェス)(1698～1744)が製作したヴァイオリン。イギリスの収集家ムンツが一時期所有していたことから、この名前が親しまれている。日本音楽財団はストラディヴァリとデル・ジェスによって同じ1736年に製作された2挺の「ムンツ」を保有しており、それぞれの楽器の音色の特色を聴き比べるために、両方の楽器を使用したコンサートを開催している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

1740年製 Guarneri del Gesu Violin "Ysaye"

この楽器はベルギーの国家的ヴァイオリン奏者、ウジェーヌ・イザイ(1858～1931)が所有していたことからこの名前が付けられた。楽器の中には小さなラベルが貼られ、赤いインクで「このデル・ジェスは私の生涯を通じて忠実なパートナーだった。イザイ1928」とフランス語で書かれている。イザイの国葬の際には棺の前をクッションに載せられ行進した名器としても知られ、その後、1965年に巨匠アイザック・スターン(1920～2001)の所有となり生涯愛用された。この楽器は日本音楽財団が1998年に、スターンから譲り受けたものである。

1998年3月に当財団が購入したものである。

以上、当財団はストラディヴァリウス・ヴァイオリン14挺、ストラディヴァリウス・チェロ3挺、ストラディヴァリウス・ヴィオラ1挺、グアルネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン2挺の合計20挺の弦楽器を保有している。

楽器名と貸与者一覧

別紙5

2014年3月31日現在

| 楽器名 | | 貸与演奏家 | 貸与開始 | 備考 |
|--------|--|---------------------------|------------|---|
| (長期貸与) | | | | |
| | Stradivarius "Paganini Quartet" | Hagen Quartet | | |
| 1 | Violin 1680 | Rainer Schmidt | 2013/7/25 | ビンネゲン(スイス)在住 |
| 2 | Violin 1727 | Lukas Hagen | 2013/7/22 | ザルツブルク在住 |
| 3 | Viola 1731 | Veronika Hagen | 2013/8/5 | ゼーキルベン(オーストリア)在住 |
| 4 | Cello 1736 | Clemens Hagen | 2013/7/18 | ザルツブルク在住 |
| 5 | Stradivarius 1700 Violin "Dragonetti" | Veronika Eberle | 2009/5/11 | ミュンヘン在住 |
| 6 | Stradivarius 1702 Violin "Lord Newlands" | Ray Chen | 2012/4/11 | フィラデルフィア在住 2009年エリザベートコンクール優勝Huggins貸与 (2009/6/2-2010/9/8) |
| 7 | Stradivarius 1708 Violin "Huggins" | Andrey Baranov | 2012/5/29 | ローザンヌ(スイス)在住 2012年エリザベートコンクール優勝者 |
| 8 | Stradivarius 1709 Violin "Engleman" | Vilde Frang | 2012/11/28 | オスロ(ノルウェー)在住 |
| 9 | Stradivarius 1710 Violin "Camposelice" | Svetlin Roussev | 2012/1/16 | パリ在住 2012/1/16-2/8 Joachim貸与 2012/2/8 よりCamposelice貸与 |
| 10 | Stradivarius 1714 Violin "Dolphin" | 諏訪内晶子 | 2000/8/11 | パリ在住 |
| 11 | Stradivarius 1716 Violin "Booth" | Arabella Miho Steinbacher | 2005/5/6 | ミュンヘン在住 2005/5/6よりStrad. Muntz貸与 2006/9/4よりStrad. Booth貸与 |
| 12 | Stradivarius 1717 Violin "Sasserno" | Alina Pogostkina | 2013/2/28 | ベルリン在住 |
| 13 | Stradivarius 1722 Violin "Jupiter" | 五嶋 龍 | 2013/3/7 | ニューヨーク在住 |
| 14 | Stradivarius 1736 Violin "Muntz" | Yuki Manuela Janke | 2007/11/2 | ドレスデン(ドイツ)在住 |
| 15 | Stradivarius 1696 Cello "Lord Aylesford" | Pablo Ferrández | 2014/1/17 | トレド(スペイン)在住 |
| 16 | Stradivarius 1730 Cello "Feuermann" | 石坂団十郎 | 2004/1/29 | ベルリン在住 2004/1/29よりLord Aylesford貸与 2014/1/10よりFeuerman貸与 |
| 17 | Guarneri del Gesu 1740 Violin "Ysaye" | Sergey Khachatryan | 2005/5/31 | エッセンホルン(ドイツ)在住 2005年エリザベートコンクール優勝Huggins貸与 2009/4/7よりLord Newlands貸与 2010/10/27よりYsaye貸与 |
| (短期貸与) | | | | |
| 18 | Stradivarius 1725 Violin "Wilhelmj" | 渡辺玲子 | 2012/11/12 | 東京、ニューヨーク在住 財団事業協力のため貸与継続 |
| (その他) | | | | |
| 19 | Stradivarius 1715 Violin "Joachim" | | | 長期貸与後、次の貸与まで保管中 |
| 20 | Guarneri del Gesu 1736 Violin "Muntz" | | | 大規模修理中 |

長期貸与17挺、短期貸与1挺、その他2挺 現在保有楽器 計20挺

上記のとおり2013(平成25)年度事業報告書を提出いたします。

2014(平成26)年5月29日

公益財団法人 日本音楽財団

会 長 小 林 實 (印)

理 事 長 江 頭 (塩 見) 和 子 (印)

2013(平成25)年度事業報告書を監査した結果、適正かつ妥当であると認めます。

2014(平成26)年5月29日

監 事 垣 見 隆 (印)

監 事 山 内 悦 嗣 (印)